



Subaru

男声合唱団

ニュース№506

‘15. 6. 3

5月29日

吉田亜矢子先生の特別レッスン開かれる(第6回)

□5月29日(金)は、吉田亜矢子先生を迎えて、声楽を兼ねた特別レッスンが開催されました。1月30日(金)に「ねがい」「春を待つ」の2曲のレッスンを受けて以来、今回は「道」と「初心のうた」の2曲をテーマに、久しぶりのレッスンとなりました。参加者は全28名でした。

(ピアノ伴奏は近藤静さん)

身体と声帯を楽器として“調律する”「吉田式自然発声法」のヴォイストレーニング・ストレッチをしっかりと受けたあと、本並先生の指揮で、これまでの練習の成果を吉田先生に聴いていただく形で「道」と「初心のうた」を熱唱しました。



そのあとを受けて、吉田先生は、今日の“発声法のテーマ”について、「今あなたたちは声帯を上下に動かしてしまっている。特に音が上がるときにぐっと声帯が上がってしまう。だから思っているより音量が出ないなあ・・・という感覚のとき（は特にそうなっている。）

今日は「声帯を上げない練習」をしましょう！高い音は声帯を同じ高さで、後ろに伸ばす、喉の奥が延びている・・・そのような声帯の動かし方をしよう！思っているよりも声が出



ますよ！」「皆さんの“イエアオウ”（母音）がはっきりしない。言葉が向こうへ行っていない！“オ”と“ア”が同じ音で、全部“ア”に聞こえる。これを直しましょう！」と今日のレッスンの課題を明確にしたうえで、「道」と「初心のうた」を練習しました。

（注：上の写真は「道」バスソロ “たつほこり・・・”の詞（15～16小節）で、「弓で矢を絞る状態で声を出す！音を抜かない！」身体と声帯の使い方の練習風景）

特に「道」のバスソロの最初の聴かせどころ“おお！みちよ たつほこり さむさにふるえ しげるプーリャン”の小節を、1字1句（1語1語）声を出しながら、先生の発声法で歌い直し、“凛々しい主人公”に変貌する主人公になりきる段階へステップアップする歌声へと時間を取りました。

（注）吉田先生の「道」「初心のうた」の発声指導のレッスンの内容（概要）については、「一口レッスンメモ」で後報の予定です。

‘10 記念コンサート 第2部全曲目をレッスン！

5月31日

□5月31日（日）のレッスンは、奥村さんの体操のあと、伊藤さんの指揮で「なぜ？」「ねがい」の2曲を練習し、本番の舞台の雰囲気レベルで盛り上がりました。

休憩をはさんで、引き続き本並先生の指揮で10回記念コンサートの第2部の曲「山賊のギャロップ」「美しく碧きドナウ」「白樺」「道」「アムール河の波」「降りつむ」「街を返せ」の全曲目とアンコール曲「I've got Sixpence」を練習しました。ピアノ伴奏は近藤静さん。参加者全30名でした。



（訂正とお詫び）「昴ニュース 505号」（前号）の5月17日特別団員とのレッスン記事（3頁）で、誤記がありました。

（・・・「本並先生の指揮で「地底のうた」と「人間の歌」を、伊藤副指揮者の指揮で「飲みのナーダム」をレッスン指揮しました。」に訂正いたします。）

梅雨入りに咲くアジサイの花（撮影：吉川）